

氏 名 今 正 秀

所 属 ・ 職 名 社会科教育講座（歴史学）・助教授

研究室電話番号 0742-27-9165（ダイヤルイン）

電子メールアドレス kon@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学（1992）
文学修士（広島大学 1987）

所 属 学 会 等 史学会，日本史研究会，広島史学研究会

専 門 分 野 日本古代・中世史（平安時代史を中心に）



研究と教育について

日本における古代から中世への転換期にあたる平安時代の国家のあり方，具体的には政治機構，政治運営，政策，権力構造などに関心をもっています。平安時代の貴族が書き残した日記（古記録）と，個別的な文書を主要史料として，それらの実体を明らかにすることが当面の課題であり，さらには，前後する時代（奈良時代・鎌倉時代）と対比することにより，平安時代の特徴を明らかにしたいと考えています。

講義・演習を通じて，学問としての歴史学にふれてほしいと考えています。それは具体的には，歴史学固有の学問としての研究方法を学ぶことであり，歴史学という学問がこの世に存在することの意義を考えてもらうことです。

簡単にいえば，歴史を学ぶとはどうすることなのか，歴史を学ぶのは何のためなのかという，いわば歴史学の原点を探ってほしいということですが，それは，それらが歴史教育に携わるうえで欠かすことができないことだからです。

主な研究業績

- ・ 保元荘園整理令の歴史的意義 - 平安後期荘園整理政策をめぐる政府と権門 - 1994 日本史研究 378
- ・ 王朝国家宮廷社会の編成原理 - 昇殿制の歴史的意義の再検討から - 1994 歴史学研究 665
- ・ 摂政制成立考 1997 史学雑誌第 106 編第 1 号
- ・ 摂関政治と天皇 - 円融天皇期を事例に - 2000 高円史学第 16 号
- ・ 花山朝の政治 2004 高円史学第 20 号

主な授業担当科目

日本史概説Ⅰ(教員養成課程)，日本史A(教員養成課程)，日本史演習(教員養成課程)，
古文書学演習(教員養成課程)，歴史学Ⅱ

学 会 活 動

社 会 的 活 動

講 演 の テ ー マ